

2020年3月27日(金) 岐阜新聞

抗菌作用健康食品
県社協に150本寄贈

秋田屋本店

養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町)は26日、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、基礎体力の弱い高齢者らの健康増進を目的に、同社製の健康食品「プロポリスA抽出液」150本(計81万円相当)を県社会福祉協議会に贈呈した。

ミツバチが樹皮や木の芽から集めた樹液をアルコールで抽出してつくる「プロポリスA抽出液」は、抗菌・抗酸化作用などがある。同協会に30リットル入り150本を贈った。同協会から県

プロポリスA抽出液を贈呈した中村源次郎社長(右から3人目)と岐阜市下奈良、県福祉・農業会館



内の高齢者福祉施設に寄贈される。

同市下奈良の県福祉・農業会館で贈呈式があり、中村源次郎社長が同協会の小林政人常務理事に目録を手渡した。中村社長は「感染拡大は非常に心配だが、少しでも役に立つことができれば」と語った。

(湯浅裕作)

2020年3月27日(金) 中日新聞

あらかると

◇県社協へ自社製品を寄付
岐阜市の養蜂・ハチミツ販売「秋田屋本店」が26日、県社会福祉協議会に自社製品の「プロポリスA抽出液」を150本贈った。社協を通して県内の高齢者福祉施設145カ所に配る。



秋田屋本店の中村源次郎社長(右)と県社協の小林政人常務理事(左)＝岐阜市下奈良で